



オフィスの新しいあり方、継続する価値を創出
次世代スマートオフィス／ビルディングソリューション

株式会社 電通国際情報サービス
コミュニケーションIT事業部



従来のオフィス

これからのオフィス

利用者

- ・決まった時間に決まった席で働く
(組織の島をいかに大きくするか)
- ・中央監視で操作されるセントラル空調
(個人好みの操作ができない)
- ・労働人口減少に伴う長時間労働の常態化



利用者

- ・働く場所に捕らわれない新しい働き方
- ・快適な空間、利便性の高い空間利用
による生産性の向上
- ・健康的な働き方

提供者

- ・オフィス増床／改修に伴うコスト増加
- ・利用実態に合わないオフィス改修
- ・ビル管理目線のエネルギーコスト削減



提供者

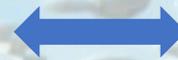
- ・賃料／オフィス改装コスト／エネルギー
コスト／オフィス運用・運営コスト削減
- ・快適な空間の提供、差別化されたサービス
によるオフィスや不動産の価値向上
- ・コスト削減と価値向上の両立

オフィススペースの稼働率の最適化

利用者



- ・望む時間／場所で働きたい…
- ・快適な空間で働きたい…



提供者



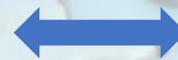
- ・オフィスの固定費削減をしたい
- ・利用実態に合わせて稼働率を上げたい

快適性な場所と設備の稼働率の両立

利用者



- ・快適な場所は生産性が上がる
- ・利便性が高いと生産性が上がる



提供者



- ・未使用の設備の無駄な稼働は止めたい
- ・利用実態に合わない過剰な稼働は防止したい

▶ 利用者の快適性維持・利用に応じた稼働率最適化が必要

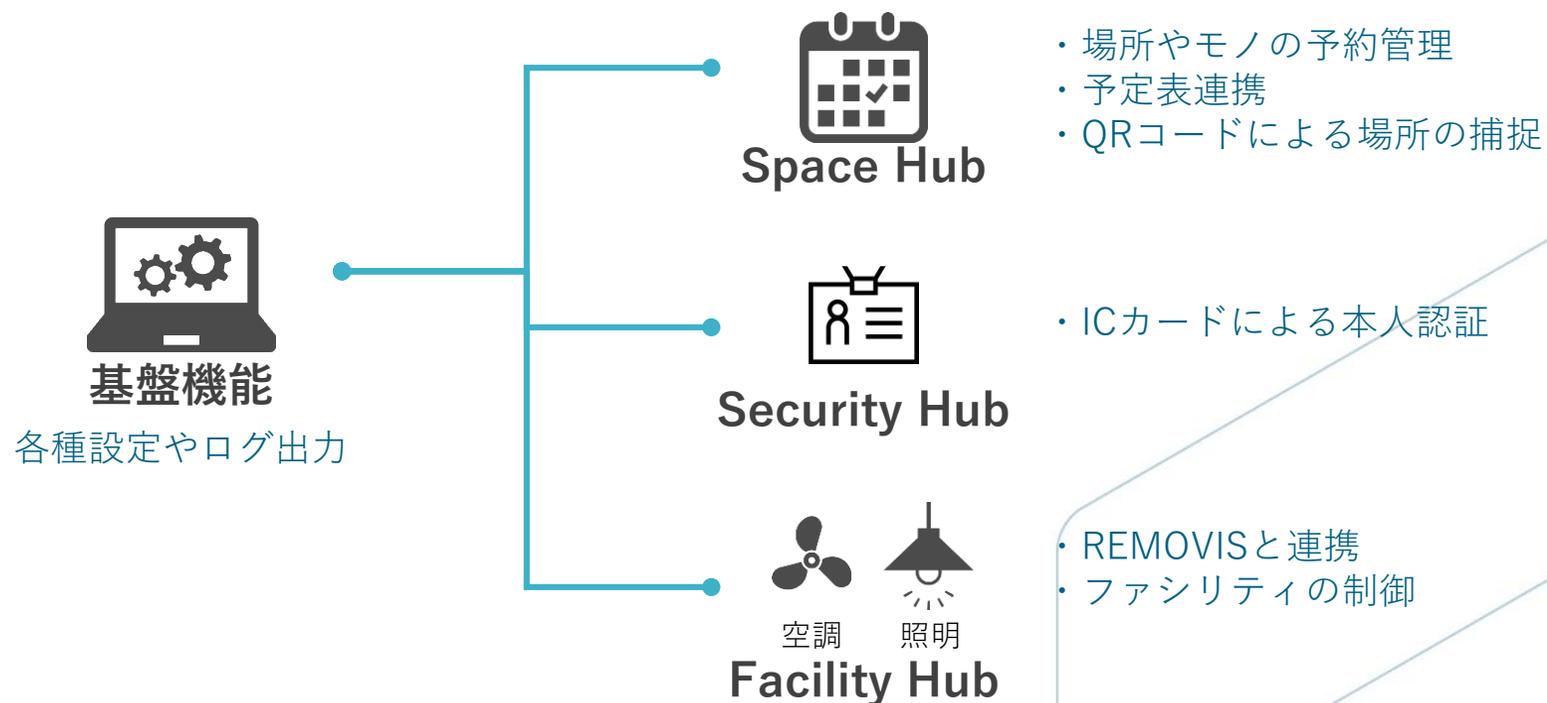
場所中心から人中心の空間へ(利便性、健康、自動化・・・)

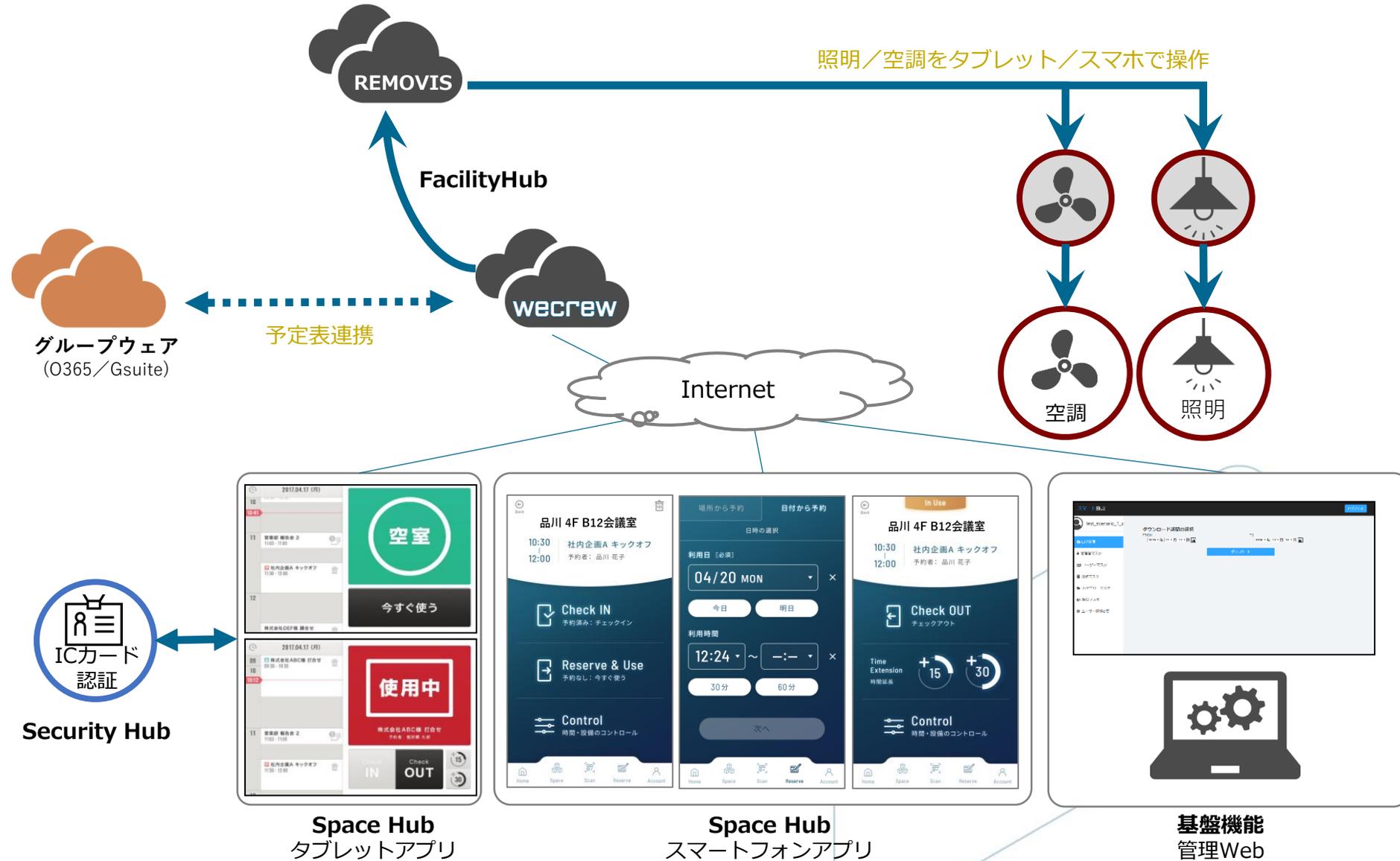
ソリューション概要



各種オフィススペースの予約／入退室管理機能でリアルタイムな利用状況が把握できる他、ダイダン株式会社のREMOVIS®との連携により、その利用状況に応じて空調や照明等を制御し、オフィスの稼働率向上と効率的なエネルギー活用を実現。

運用やご要望に合わせ、基盤機能と3つのコンポーネントにより機能提供します。





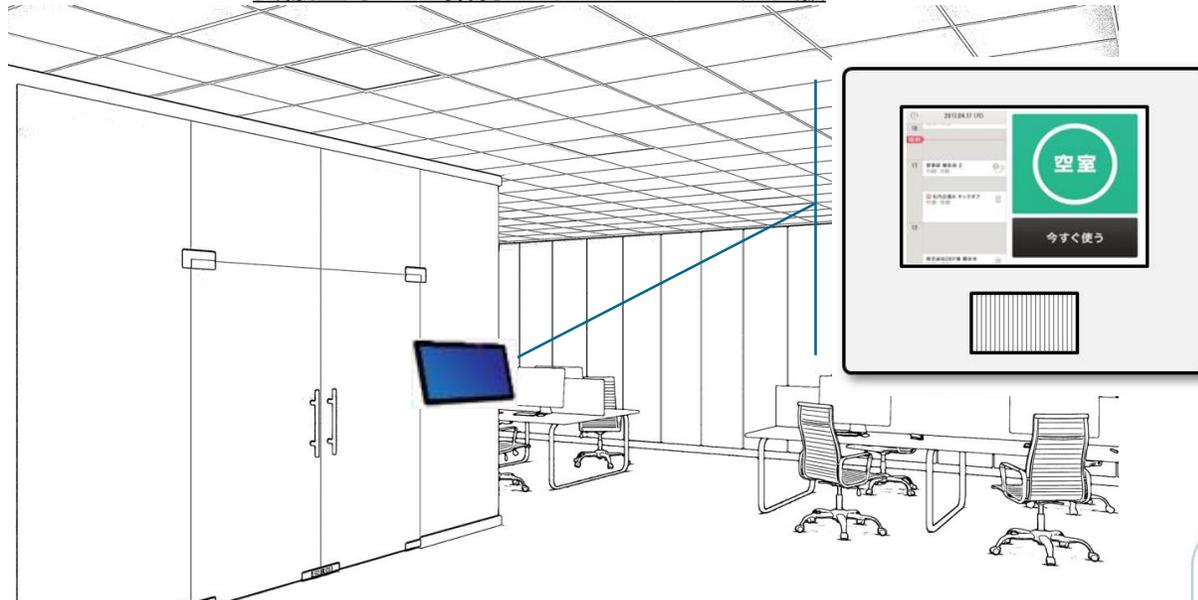
機能紹介① SpaceHubの予約管理とスペース最適化

wecrew機能群のうち、場所やモノの予約や利用を一元的に管理する基本モジュール

Space Hubの特徴

- O365(Exchange Online)等のグループウェア※1と連携した設備予約管理が可能（予約の管理と共有）
- 場所やモノの利用時のチェックイン、利用されない場合の予約自動キャンセル機能により、オフィスリソースの稼働率向上
- 各種スペース/モノの予約管理だけでなく、利用率(稼働率)・利用頻度などを可視化
- 場所の利用者を記録し、NewNormal運用における追跡を可能に(スマホアプリ機能を活用)

会議室などに据付タイプのタブレット版



スマホ版



予約

使用開始(チェックイン)

利用終了

分析・改善

- グループウェアの予定表から
- wecrewスマホアプリから
- wecrewタブレットから

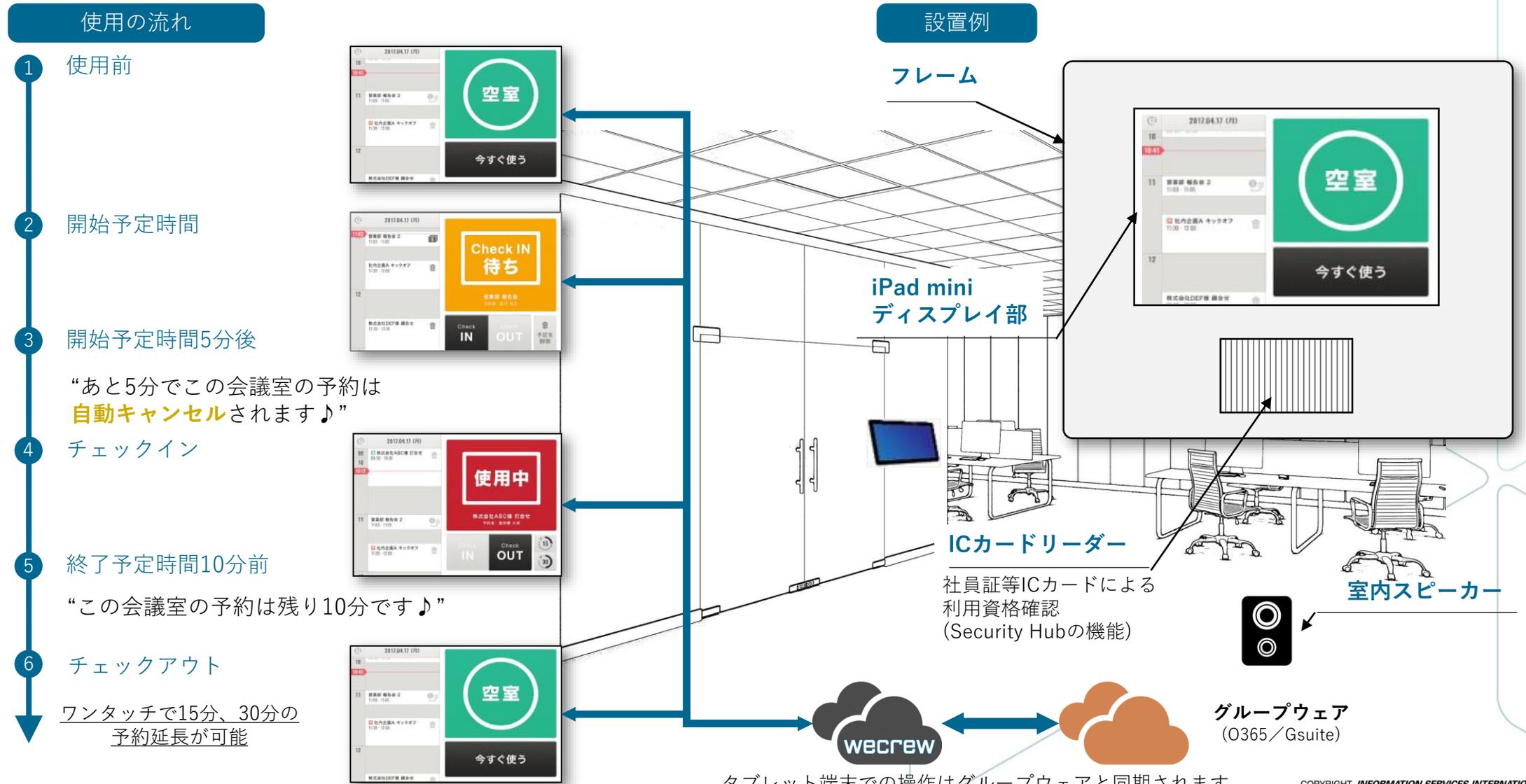
- wecrewアプリで場所に対してチェックイン
- 未使用時の自動予約キャンセル
- wecrewアプリでチェックアウト

- 場所の稼働率など分析
- 長期的にはオフィスレイアウトの変更などの最適化を支援

※1 対応グループウェアはO365、Gsuite

機能紹介① Space Hub タブレット版予約管理

タブレット版は、会議室や共用スペースなど予約を管理する場所に設置し、利用します。



機能紹介① Space Hub タブレット版予約管理

マルチ会議室モードを利用することで、1端末で最大16会議室まで管理が可能です。
 ※複数会議室の場合は音声は流れません。(受付などの共用端末としての利用を想定)



1つ選択


 一覧へ戻る



設定画面イメージ



左右へのフリックで
表示する会議室を切り替え

機能紹介① Space Hub スマートフォン版予約管理

タブレット版と同様に、場所の予約、利用を可能に。

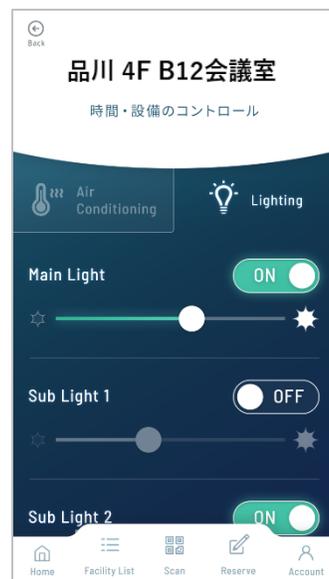


オフィス空間の利用と空調や照明をはじめとした設備稼働を連動させるための機能群

Facility Hubの特徴

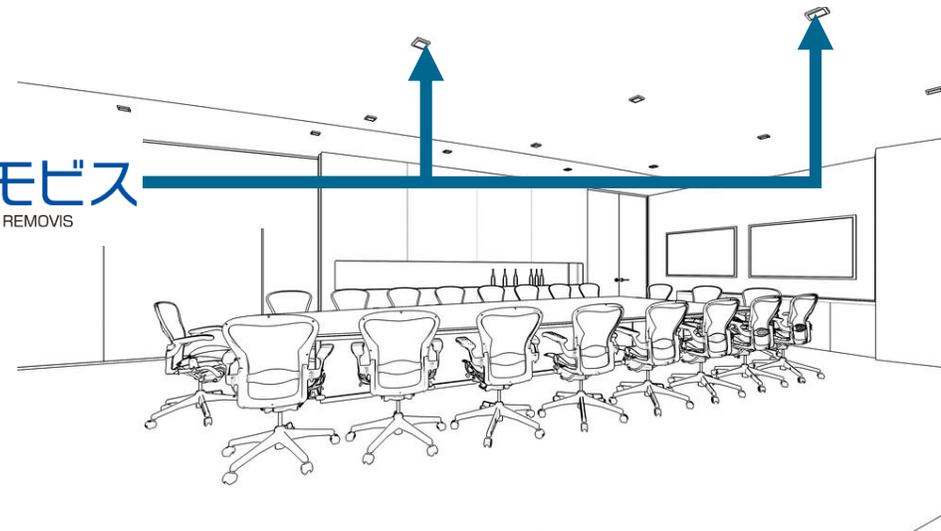
- クラウドから空調や照明を制御可能なダイダン株式会社のリモビスと連携
- スマホやタブレットアプリから環境を制御。物理的配線をなくし、スイッチレスのオフィスで長期的な工事コスト削減などに寄与
- 場所の利用に応じたファシリティ制御を可能とする。ファシリティのタイプごとに応じた制御命令をリモビスに連携可

スマートフォン版によるファシリティ手動操作のイメージ
(タブレット版も同じような操作が可能となります。)



タブレット版

手元のスマホからファシリティの制御を可能にするとともに
従来の物理的な配線を不要とすることが可能。



現在の対応ファシリティ

- 照明 照明ON/OFF、照明機器が対応していれば調光も可能
- 空調 空調の温度設定、個別空調の場合はON/OFF、冷房/暖房などの空調モードの設定が可能

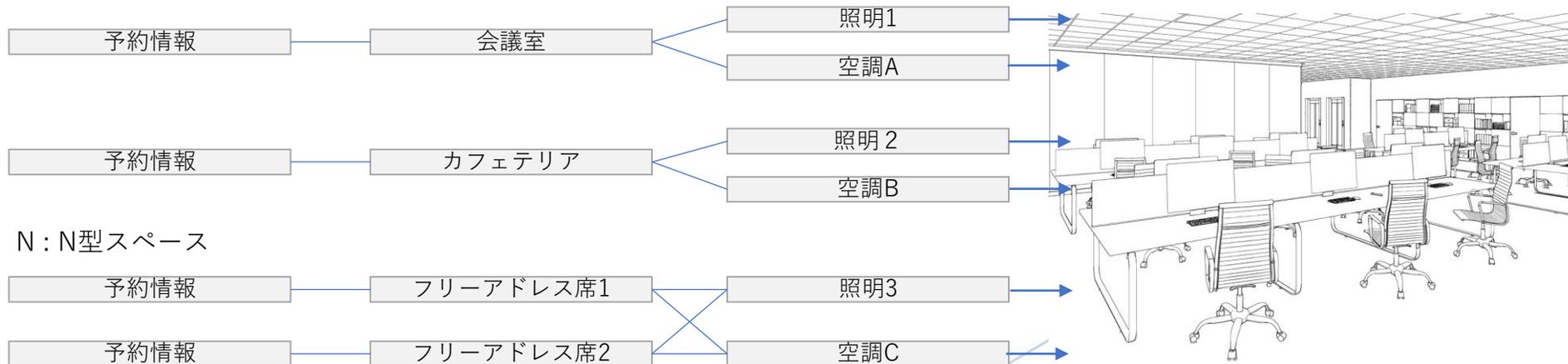
グループウェアなど
従来のITの領域

Connect

リアルなオフィス空間



1 : N型スペース



N : N型スペース

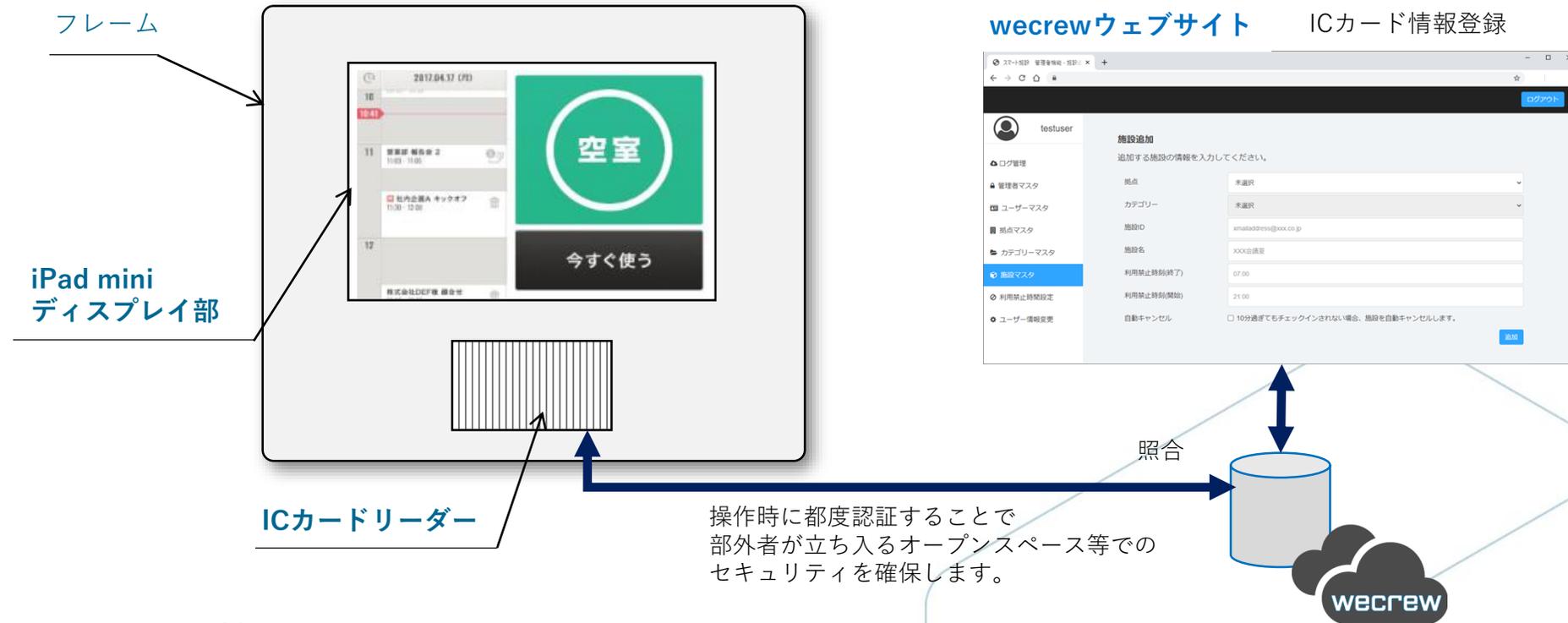


カスタマイズ対応で実現できること

予約がされている時間だけ設備を稼働させる、またはチェックインされ実際に使用している場所だけ設備を稼働させるなどの制御を行い、オフィスやビルの利用実態に連動したファシリティ制御が可能となります。

タブレット向けオプション

操作時に、社員証などICカード(Felica仕様に限る)を用いて本人認証を行うことが可能。管理者用ウェブサイトから、ICカードを登録することができます。大規模運用時はデータ連携やAD連携などのカスタマイズ対応を推奨。



操作時に都度認証することで
部外者が立ち入るオープンスペース等での
セキュリティを確保します。

カスタマイズ対応で実現できること

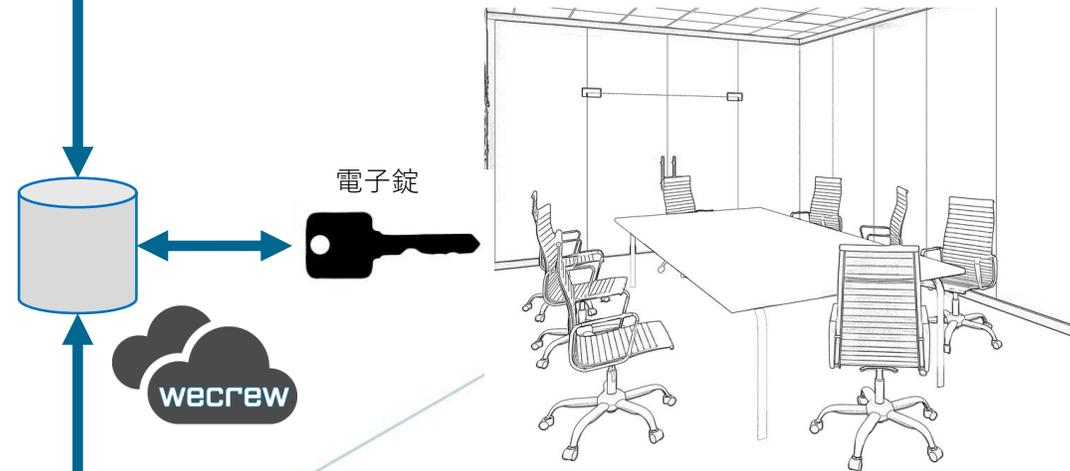
Microsoft社Azure Face APIを利用し、事前に利用者個人ごとの顔の特徴を登録。利用時にタブレットのカメラから利用者の顔を検出し、本人かどうかのチェックを行う。
(ウェブサイト利用者ごとに顔の特徴を事前に学習し保管想定)

電子錠連携

会議室など、入り口に電子錠を設置し、会議室利用のためのチェックインと同時に自動開錠、終了時(チェックアウト時)に自動施錠をさせることが可能となります。

入室用の鍵の貸し出しに人的対応をしているようなケースはコスト削減に。施錠などをしていない場合は、これによって物理的セキュリティが向上します。

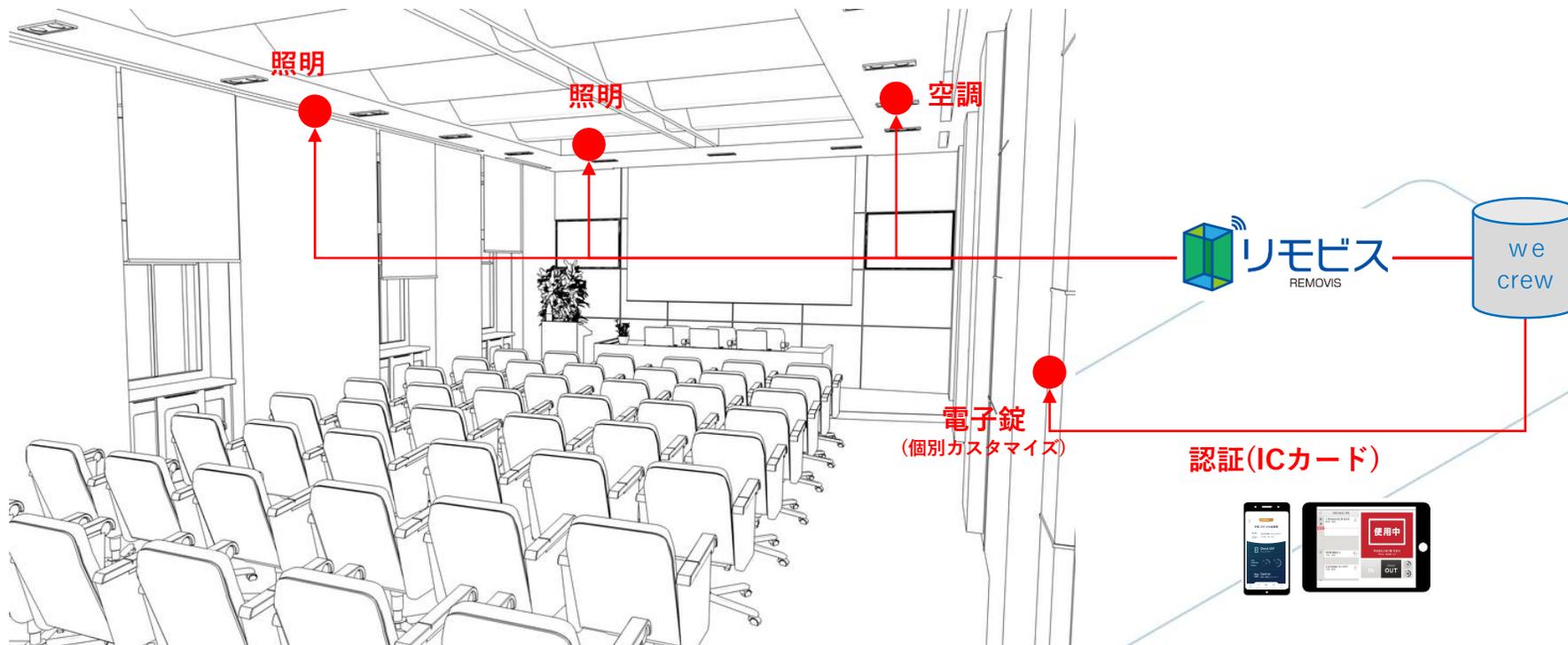
これまで連携の実績はあるのは下の製品になります。
フォトシンス社「Akerun」



目的

- 会議室の予約管理の無人化、運用コスト削減
- 電子錠等によるセキュリティ強化
- 会議室の利用に応じたファシリティ制御
- スイッチレス化によりリノベーションコスト削減

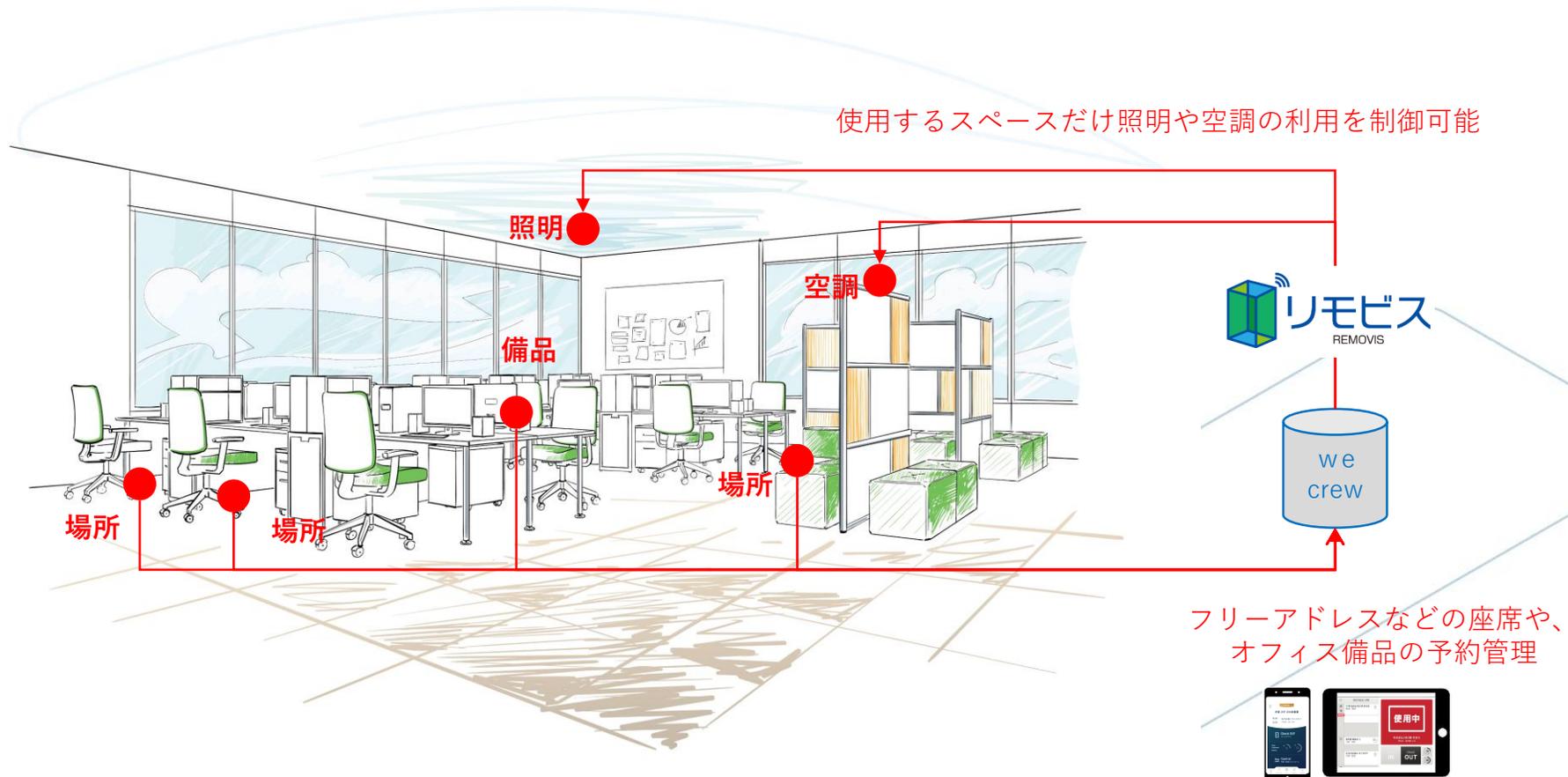
- 会議室の予約管理
- 利用開始、終了の管理
- 使わなければ予約を自動キャンセル
- 会議室の電子錠連動
(使用時に開錠、利用終了時に施錠)
- 会議室の照明や空調などをコントロール



目的

- フリーアドレス席など共有スペースの予約管理と利用率分析
- レイアウト変更など柔軟なオフィス運用
- 備品貸し出し管理運用

- フリーアドレス席など、会議室以外の予約／利用管理やファシリティ制御も同様に可能
- 座席だけではなく、PCや備品類などの予約／利用管理も可能



Space Hub

タブレット版

場所やモノの新規予約

今すぐ予約

場所の予約一覧

チェックイン

チェックアウト

予約自動キャンセル

利用延長

音声アナウンス

設備制御

スマホ版

場所やモノの新規予約

今すぐ予約

本人の予約一覧

チェックイン

チェックアウト

予約自動キャンセル

利用延長

設備制御

QRコードによる場所特定

Facility Hub

ファシリティ管理

場所・設備の紐付管理

リモビス連携

Security Hub

タブレット版

ICカードマスタ管理

顔認証

顔認証管理

電子錠連携

電子錠情報管理

基盤機能

ユーザー・管理者管理

企業情報管理

グループウェア連携

各マスタメンテナンス

利用ログ出力

会議室など場所情報管理

ICカードマスタ管理

----- カスタマイズとして対応可能な機能

対応グループウェア

Microsoft O365

Google G Suite

スマートフォン版

iPhone版 iOS13以上

Android版(開発中のため未定)

※アプリの配布方法については、個別に対応させていただきます。

タブレット版

iPad OS13以上のiPad、iPad mini

専用Webサイト

Google Chromeのみ

